

熊本県立荒尾支援学校進路便り

わーく&らいふ

令和7年度 第10号(通巻110号) 3月23日発行

■CONTENTS■

【トピック】「卒業生保護者からのメッセージ」

進路便りでは毎年、「卒業生保護者からのメッセージ」と題して特集記事をお届けしています。今年も卒業生保護者のアンケート結果から、在校生保護者の皆様や私たち教職員に向けたメッセージを紹介します。

今回は、卒業生保護者から寄せられた中から「進路選択に向けたポイント」をはじめ、「これまで効果的だった取組や足りなかった取組」などをお届けします。

質問1「進路を決めるに当たってのポイントは何ですか？」

- ・得意なことや苦手なこと、目標などを基に本人の希望、家族の希望を話し合った。
- ・実習や学校の様子を聞いて、本人がどのようなことに適性があるかを考えた。
- ・何が得意で、何が苦手かを見て、バスに一人で乗れるかどうかなども参考にした。
- ・実習中にその仕事が合っているかどうか本人と話し合った。
- ・本人の好きなことや得意なことを活かせるかどうか。
- ・交通手段を含め、本人が通勤できる場所かどうか。
- ・保護者の気持ちより、本人のやる気や楽しみがあるかどうか。



質問2「家庭の取組で『効果のあったこと、やって良かった』と思うことは何ですか？」

- ・できることから手伝いをしたこと。
- ・洗濯や料理の機会を増やすなどしたことで自立に向けた生活力が向上したこと。
- ・毎日続けることができる手伝いを一つ任せられたこと。続けることで習慣になり自主的にしてくれて責任感が出てきた。感謝の言葉も毎日伝えている。
- ・風呂掃除や洗濯物たたみなど、やってもらいたいことを具体的に伝えていくうちに何も言わずに自分から進んでやってくれるようになった。



質問3「学校の学習・生活をとおして身につけたことは何ですか？」

- ・コミュニケーション力が身についた。
- ・学校や実習先での振る舞いや社会性が身についた。
- ・身だしなみや人の話の聞き方など。
- ・敬語の使い方や周囲へ気遣いできる優しさ。
- ・体調不良時に自分から伝えることができるようになった。
- ・自分の気持ちをコントロールできるようになった。
- ・実習や学校生活や行事を経験する中で自信がもてるようになった。
- ・規則正しい生活。



質問4「もっと力を入れておけば良かったと思うことは何ですか？」

- ・お金の使い方などをもっと経験する。
- ・学校と施設以外への社会参加。
- ・次の日の準備を自分でできるようになること。
- ・公共機関を使って買い物を一人でする練習。
- ・気持ちをうまく切り替える方法。
- ・家の手伝い。
- ・挨拶の仕方や生活習慣の確立など。



質問5「その他、在校生保護者へ伝えたいことは何ですか？」

- ・就労への不安はあると思うが、本人の力を信じて肯定的に励ますこと。時には社会の厳しさを伝えることも大切なのかなと感じる。先生方も学校もしっかりと支えてくださる。
- ・他の子どもと比べない。「自分の子は自分の子」我が子目線で。
- ・7月に学校である事業所説明会に参加してほしい。話を聞くことで知らなかったことや次の実習先にもつながるため。

<まとめ>

進路を決めるポイントは、やはり本人の希望を第一に考えて決めているようです。普段から御家庭で将来について話題にしてみてください。家庭での取組は、手伝いを続けることがよいようで、卒業後に働くためにも必要なことだと思います。学校の学習・生活をとおして身につけたことは社会に出てとても重要なことだと思います。「もっと力を入れておけばよかったと思うこと」を読まれて、是非これから御家庭で取り組んでほしいと思います。



<編集後記>

本年度も進路だよりを読んでいただき、ありがとうございました。来年から進路だよりは形を大きく変え、たくさんの進路情報を提供していく予定ですので、よろしくお祈りします。（文責：吉村章宏）